

JPMA Plaza (712 文字)

(製薬協ニューズレター2007年7月 120号)

「薬事委員会、2007年度を新体制でスタート」

4月25日(水)、薬事委員会は総会を開催し、発足後3年目の委員会活動に入りました。総会では、委員長に前委員長、石井庸一氏(田辺製薬)が再選されました。また、副委員長に、桑原雅明氏(武田薬品)、浜松利明氏(エーザイ)、尾澤修一氏(キッセイ薬品)が指名されました。薬事委員会は引き続き、申請薬事部会と薬事制度部会の2部会で活動を進めていくこととし、申請薬事部会の部会長に桑原雅明氏、薬事制度部会の部会長に尾澤修一氏が指名されました。更に、幹事に8人が指名され、委員長以下、総計12人の新たな幹事会メンバーで薬事委員会を牽引していくこととなりました。本年度、薬事委員会は、1. 開発、承認申請及び審査の効率化に資する事項及び効率的に企業活動を行う上での問題となる薬事制度に関する事項についての検討、2. 医薬品医療機器総合機構の体制強化を視野に入れて、欧米各国と同時に承認申請及び承認取得を可能にする体制整備に向けた提言、3. 外国規制との比較を行い、手続きの簡素合理化、許認可制度のあり方について規制当局に改善策を提言、を事業方針として掲げて活動していきます。具体的な活動について、申請薬事部会は5月30日に、また、薬事制度部会は5月31日にそれぞれ部会総会を開催し、本年度の行動計画を決定しました。

会員会社社名変更

▽カネボウ株式会社は、7月1日付で、クラシエ製薬株式会社に変更する届出がありました。

▽キリンビール株式会社は、7月1日付で、医薬カンパニーを営む、医薬事業を継承したキリンファーマ株式会社が会員となります。